【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年2月22日(2024.2.22)

【国際公開番号】WO2022/190373
【出願番号】特願2023-505056(P2023-505056)
【国際特許分類】
C08L 1/10(2006.01)
C08K 5/11(2006.01)
C08K 5/103(2006.01)
C08L 71/02(2006.01)
C08L 67/00(2006.01)
C08L 67/02(2006.01)
【ＦＩ】
C08L 1/10
C08K 5/11
C08K 5/103
C08L 71/02
C08L 67/00
C08L 67/02

【手続補正書】
【提出日】令和4年3月2日(2022.3.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
セルロースエステル、ポリエステル及び可塑剤を含み、
上記セルロースエステルが、総置換度２．１以上２．６以下のセルロースアセテートであり、
上記可塑剤の数平均分子量が１０００以下であり、
上記ポリエステルが、コハク酸とブチレングリコールとが脱水縮合された構成単位を繰り返し構造として有しており、全構成単位に対して、芳香環を含む構成単位の割合が４０％以下である、
上記ポリエステルの量が、上記セルロースエステル１００重量部に対して１２０重量部以下であり、
上記可塑剤の量が、上記セルロースエステル１００重量部に対して１５重量部以上１００重量部未満である、熱可塑性樹脂組成物。
【請求項２】
（削除）
【請求項３】
上記セルロースエステルの２位置換度及び３位置換度が、いずれも６位置換度より大きい、請求項１又は２に記載の熱可塑性樹脂組成物。
【請求項４】
上記可塑剤が、クエン酸エステル、グリセリンエステル、アジピン酸エステル及びポリエチレングリコールエステルから選択される１又は２以上である、請求項１から３のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物。

【請求項５】
上記ポリエステルは、全構成単位に対して、芳香環を含む構成単位の割合が０％である、請求項１から４のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物。
【請求項６】
上記ポリエステルが、アジピン酸及びテレフタル酸からなる群から選択されるジカルボン酸と、エチレングリコール及びプロピレングリコールからなる群から選択されるジオールと、が脱水縮合された構成単位を繰り返し構造としてさらに有している、請求項１から４のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物。
【請求項７】
上記ポリエステルが、ポリブチレンサクシネート（ＰＢＳ）及びポリ（ブチレンサクシネート－ｃｏ－ブチレンアジペート）（ＰＢＳＡ）からなる群から選択される、請求項１から６のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物。
【請求項８】
上記セルロースエステルがセルロースアセテートである、請求項１から７のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物。
【請求項９】
上記セルロースエステルの重量平均分子量が１００，０００以上である、請求項１から８のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物。
【請求項１０】
上記セルロースエステルの含有量が、樹脂組成物全体に対して３０重量％以上９０重量％以下である、請求項１から９のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物。